



教務 Q & A

<p>●まずは用語を覚えよう</p> <p>入門編 → p.1~3</p>	<p>●履修登録のあれこれ</p> <p>履修登録 → p.4 Live Campus → p.5 開放科目 → p.5 履修登録撤回 → p.6</p>
<p>●成績って、どうなってるの？</p> <p>GPA/再履修 → p.7 成績 → p.8 学外での学修 → p.10</p>	<p>●授業のいろいろなこと</p> <p>基盤教育の質問 → p.8 基盤教育の質問（外国語科目） → p.9 授業を欠席/インフルエンザなど → p.10~ 試験 → p.12</p>
<p>●資格のこと</p> <p>資格 → p.14</p>	<p>●こんな時はどうするの？</p> <p>証明書 → p.13 休学/退学/除籍 → p.16</p>
<p>●こんな制度もあります・その他</p> <p>特修プログラム → p.15 転学・転学類・転専攻 → p.15 いろいろな質問 → p.17</p>	<p>●GPA講座</p> <p>→ p.18~</p>

福島大学教務課

<https://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/>

はじめに 登場人物紹介



キュー先生

教務のことならなんでも知っている先生。どんなことでも親切丁寧に教えてください。



アンサー君

今年福島大学に入学した新入生。



アンド犬

アンサー君の友達。

Hello!!



この冊子ではこのように略してるよ

正式名称	略称
人間発達文化学類	人間発達
行政政策学類	行政
経済経営学類	経済
共生システム理工学類	理工
食農学類	食農
英語以外の外国語	非英

イラスト：P.N.現夜 学人（現代教養コース）



用語

解説

グレードポイント
Grade Point
(GP)

Grade Point (グレード・ポイント) とは、各科目の成績を、その評価に応じて5段階(4、3、2、1、0)にわけて数値化したものです。

	評語	学修成果	評点	GP
合格	S	単位認定基準を満たし、かつすべての項目で優秀な学修成果をあげた	90点~100点	4
	A	単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた	80点~89点	3
	B	単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた	70点~79点	2
	C	単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた	60点~69点	1
不合格	F	単位認定基準の学修成果をあげられなかった	59点以下	0

このGrade Pointと科目の単位数を使って、平均値を算出したものが次に記載の「GPA」です。

ジーピーエー
G P A

Grade Point Averageの略で、学生が履修した科目の評価を点数化(GP)し、その合計点を履修した単位数で割って算出した平均値のことで、GPAは以下の式によって計算された値になります。→「GPA講座」参照
GPAは、奨学金の受給基準であったり、研究室配属時の選考基準などに使われたりします。

$$GPA(\text{Grade Point Average}) = \frac{\text{(修得した各科目の単位} \times \text{Grade Point)の総和}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

セメスター

本学の学期(セメスター)は、前期(4月~9月)と後期(10月~3月)に分かれています。
1年生前期を1セメスター、1年生後期が2セメスター、2年生前期が3セメスター…と呼んでいます。(例:学修案内に科目の開講時期が5セメスターと載っていたら、3年次の前期から履修できるということです。)

キャップ
Cap制度

単位取得に必要な予習・復習の時間を確保するためにセメスターごとに履修登録できる単位数の上限を設定しています。この制度のことをCap制度といいます。授業時間外の学修時間を確保するためのものです。学類によって上限単位数が異なるので、学修案内を参照してください。

ライブキャンパス
LiveCampus (通称: LC)

インターネットに接続されているパソコンから「いつでも」「どこでも」教務に関する情報を閲覧したり、申し込んだりできるシステムです。
LCを利用するには、ID及びパスワードが必要です(入学時に配付されたセンターアカウント通知に記載)。
使い方はガイダンスで配付された「共通ガイドブック」やLCメニュー>キャンパスinfoにあるマニュアルをご覧ください。

シラバス

講義の内容や進め方を示す計画書になります。講義概要や各回ごとの授業内容、成績評価の基準や方法、教科書・参考書、オフィスアワー等が記載されています。シラバスはLCや教務課HPから見ることはできますが、担当教員のメールアドレスが確認できるのは、LCからのみです。

オフィスアワー

教員が学生からの授業に関する質問等に応じるため、設定されている時間帯のことです。授業に関して質問等がある場合には、オフィスアワーの時間に先生を訪ねてみましょう。(事前アポイントを要する場合があります)
各教員のオフィスアワーの時間・場所等については、LCのシラバスに記載されています。記載がない場合は、授業終了後に直接尋ねてください。
非常勤講師は研究室がないので、授業の前後に直接尋ねてください。

用語	解説
自主学修プログラム	<p>自主学修プログラムは、学生が自主的にグループを組織してテーマ・内容を設定し、任意の教員の指導のもとで学修することにより、単位が認定される制度です。活動は、自主的な協働学修やプロジェクト型の学修が主たる内容です。自主学修プログラムは、学修の企画を立ち上げ、計画し、実践して成果をまとめるという一連のプロセスを評価し、単位認定します。（認定単位は「N（認定）」評価）修得単位（1単位または2単位）は、選択必修または自由選択の単位として計上することができます。（詳しくは学修案内をご覧ください）</p>
開放科目	<p>各学類の専門領域科目のうち他学類の学生が履修することができる科目のことを「開放科目」と呼びます。すべての科目が開放科目に該当するわけではありません。事前に学修案内の「開放科目一覧」を調べ、受講したい科目が開放科目かどうかを確認してください。その上でシラバスから授業内容を確認するようにしてください。履修登録は通常の科目と同様にLCからの登録となります。初回の授業において、受講者が多く授業運営が困難と判断された場合、受講制限をすることがあります。開放科目の履修上限は、他大学等との単位互換科目等の単位を含めて60単位までとなります。</p>
事前登録	<p>履修登録前に別の登録手続きを行うことです。英語再履修※・非英（英語以外の外国語のこと）再履修・情報処理科目再履修の受付などが当てはまります。手続き方法など詳しい内容については、掲示板で確認してください。事前登録が必要な科目は、事前登録をせずに履修登録をしても受講が認められませんので注意してください。 ※「再履修」の項目を参照</p>
履修希望受付・抽選登録 〔 学術基礎科目 問題探究科目 〕	<p>受講者が集中すると見込まれる学術基礎科目の一部などは、履修登録の前に、LC上で履修希望科目の抽選登録申請が必要です。受付期間や申請方法は教務関係日程表や学修案内等で確認してください。 （1次受付：前期科目→4月初旬 / 後期科目→10月初旬）</p>
受講調整	<p>授業科目の中には、教室の収容人員の都合や教育効果の観点から、やむを得ず受講者数を制限する場合があります。特に基盤教育の授業科目の受講調整は、LC上で希望申請・抽選が行われますので、日程や方法を学修案内や掲示板等で確認してください。専門教育科目でも同様に、受講者を制限する場合があります。詳細は各学類の学修案内で確認してください。また非英基礎・情報科目については新入生ガイダンス時に提出してもらった希望カードをもとにクラス分けを行います。結果はS棟2階基盤教育掲示板で確認してください。英語、健康運動科学実習の授業は、1回目の授業で希望受付を行いますので必ず出席しましょう。これらの手続を行わないと正式な履修登録はできません。</p>
履修登録	<p>自分が受ける授業をLC上で登録することです。事前登録をした科目も履修登録は必要になります。この手続きをしないと授業を受けていても単位にならないので気をつけましょう。（登録状況は個人時間割表で確認できますので、漏れのないようにしましょう！） 教務関係日程表や掲示板で履修登録期間、履修登録修正期間を確認しましょう！一部の必修科目などは、自動登録されている場合があるので、自分で登録した覚えがないのに追加されている！みたいに誤解のないようお願いいたします。なお、タイミング的に履修登録が完了していない状態で授業が開始しますので、完了前でも授業には出席してください。完了していないから授業を行わないということはありません。</p>
履修登録修正期間	<p>履修登録期間に登録した科目に誤りがあった場合は、履修登録修正期間内にLC上で修正・削除してください。</p>


用 語	解 説
履修登録撤回制度	<p>履修登録期間が過ぎた後に、授業についていけないなどの理由で、<u>GPA</u>が下がるのを防ぐために履修登録を取り消す制度です。撤回できない科目もあるので学修案内で確認してください。なお、ある科目を履修撤回した代わりに別の科目を追加登録することはできません。</p> <p>履修登録撤回期間にLC上から撤回の手続きを行います。集中講義については、集中講義開始日の翌日まで履修登録撤回を認めます。ただし、食農学類開講の「畜産学特別実習」と「森林特別実習」については、履修登録撤回は認めません。また、共生システム理工学類の実習関係の集中講義に関しては、6月30日までを撤回期日とします。</p> <p>なお、履修登録撤回の手続き期間経過後から授業期間の最終日（集中講義の場合はその最終日）までに、病気や事故などやむを得ない理由で、履修登録をした科目の受講を継続することが困難になった場合などは、<u>例外的にさかのぼって履修登録撤回を認めることがあります</u>。入院していた証明書などを添付の上、授業期間の最終日（集中講義の場合はその最終日）までに、教務課へ申請する必要があります。</p>
授業欠席に関する取り扱い	<p>次の各号の理由により授業を欠席する場合は、一定の様式に基づく届けを提出することにより福島大学単位認定規程第3条第3項に規定する欠席時数として算入しないことになっています（但し、集中講義を除く）。</p> <p>教務課各学類係に「申請書」があるので、手続き後速やかに授業担当教員に提出してください。</p> <p>①教育実習、介護等体験及び保育実習、心理実習、博物館実習、社会教育実習で授業を休む場合 ②インフルエンザやはしかにかかった場合など学校保健法の規定に基づく学長による出席停止の指示に従う場合 ③裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合 ④忌引き（親族の範囲により日数が異なる）</p> <p>※なお、欠席時数に参入しないからといって、課題が免除されるということではないので、欠席期間中の課題などについては担当教員と相談するようにしてください。</p>
再履修	<p>成績評価で不合格（F）になった科目を再び履修することです。再履修後の評価がC以上であれば成績が上書きされ、「F」の記録がなくなり、GPAの値も上昇します。なお、再挑戦してなお「F」となった場合でも、そのことによりGPAが下がることはありません。</p>
集中講義	<p>毎週決まった曜日・時限に行うのではなく、夏休み中などある期間に集中して行われる授業のことです。どの科目が集中講義かは、時間割表・開講科目一覧に載っています。詳しい日程等は学類の掲示板に貼り出されますので、履修登録前の確認を忘れないでください。（集中講義の履修撤回→履修登録撤回の項へ）（後述しますが、集中講義はCAPに含まれません）</p>
正規試験	<p>学期末に設けられている「正規試験・補講期間」中に、試験規則に基づいて実施される試験です。 学修案内の試験規則をよく見ておきましょう！</p>
平常試験	<p>授業期間や補講期間など、その科目の授業時に行われる筆記テストやレポート提出のことです。 でも、重要度は正規試験と一緒だよ！</p>
追試験	<p>やむを得ず（病気・電車等交通機関の遅れ・忌引き・就職試験など）<u>正規試験を欠席した時にだけ</u>受けることのできる試験です。申請する際は、<u>証明書が必要</u>です。 追試の追試はありません。</p>
単位互換	<p>福大に在学したまま他大学（協定校）等の授業科目を履修して、他大学等で修得した単位を福大で修得したものとみなすことができる制度です。3月中旬にLC及び掲示等でお知らせします。</p>
みなし〇曜日	<p>祝日等の関係からカレンダーどおりだと半期15回の授業回数を確保できない場合があるため、それを解消するために大学独自の曜日設定をしているというものです。例えば、「水曜日」なのに「みなし月曜日」の設定がある日は、水曜日の授業をおこなわず、月曜日の授業を行います。教務関係日程表で確認しましょう。</p>


履修登録



授業を受けるために必ずやらなければならない手続きです！

質 問		回 答	
Q 1	履修登録って何ですか。	A 1	自分が受ける授業をセメスター（学期）毎に登録する手続きのことです。この手続きを行わずに授業に出ている、正式に授業を受けていることにはなりませんので、成績評価もされません。LCで登録内容を必ず確認してください。
Q 2	履修セメスターってなんですか？	A 2	科目の履修時期のことです。例えば履修セメスターが3セメスターの場合、2年次の前期以降に履修できるということになります。（=1年次には履修できない）
Q 3	履修登録前はどのように授業を受ければいいのか？	A 3	事前登録や受講調整のある科目については手続きが必要です。まずは、科目の履修セメスターや履修基準に従って希望する授業を自由に受講してみてください。1回目から出席をとる授業もあります。※履修登録前に発出された授業連絡は再送されないの、LCの連絡一覧をチェックするようにしてください。
Q 4	履修登録が完了していないので、授業には出席しなくても良いですか？	A 8	タイミング的に履修登録が完了していない状態で授業が開始しますが、登録が完了する前でも授業には出席してください。登録が完了していないから授業を行わないということはありません。
Q 5	履修登録はどうやってやるんですか？	A 4	LCを利用して行います。インターネットに接続されたパソコンから履修登録を行います。登録手順については、「共通ガイドブック」やLCメニュー>キャンパスinfoにあるマニュアルで説明していますので熟読しましょう。また、履修登録期間以外は履修登録を行うことはできませんので、教務関係日程表（教務課HPに掲載）から登録期限などを必ず確認しておきましょう。基盤教育科目（語学等）の一部では事前に窓口受け付けが必要なものもあります。
Q 6	パソコンが苦手なので、履修登録ができるか不安なのですが・・・	A 5	教務課窓口にパソコンを設置していますので、不明な点があれば職員に聞きながら履修登録をすることができますよ。
Q 7	集中講義で取りたい科目の日程が重なっています。とりあえず両方登録しておいて、1日ぐらい欠席してもなんとかなりませんか？	A 6	一日でも日程が重なる集中講義を両方とも履修登録することはできません。重なっている科目の中で優先順位をつけ1つに絞り、取れない科目は翌年度以降に受講するようにしましょう。
Q 8	一度科目の選択をしてしまったら、もう変更はできないのですか？	A 7	履修登録期間内であれば、何度でも、登録、修正ができます。履修登録期間終了後に登録の誤りを見つけた時は、履修登録修正期間内にLC上で修正・削除してください。
Q 9	忘れずに！ LiveCampusで履修登録を終えたら、履修登録の手続きは完了ですよね？	A 9	いいえ違います。登録漏れがあるかもしれません！履修登録後、「個人時間割表」(PDF出力)から登録した科目に誤りがないかを必ず確認してください。また、LCでの登録期間終了後、詳細なエラーチェックが行われた結果、エラーになる場合があります。エラーがある場合は、掲示板やLCを通じて呼び出しをします。履修登録後も掲示板をチェックするようにしてください。
Q 10	間違っって違う科目を登録しちゃいました！	A 10	履修登録期間内であれば、何度でも修正が可能です。また、履修登録修正期間内であればLCで修正ができます。履修登録修正期間終了後は各自で修正はできません。なお、履修登録撤回期間に撤回することはできます。詳しくは「履修登録撤回」の項目をご覧ください。
Q 11	事情があって、履修登録期間に履修登録できなかったのですが、どうしたらいいですか？	A 11	履修登録期間以外の登録は一切できません。しかしこのような卒業にかかわる重要なことは一人で悩まずに、必ず教務課各学類係に相談してください。
Q 12	とりあえず、たくさん履修登録しておいたほうがいいですよね？	A 12	履修登録できる単位数には上限があります（これをCapといいます。学修案内やGPA講座のページで解説しています。）。履修登録をたくさんしても、授業や試験を受けなければ不合格になって、GPAがどんどん下がってしまいます。履修計画をしっかりと考えて科目を選択しましょう。
Q 13	集中講義はCapには含まれない…ということは、集中講義はいくつでも履修登録できるんですか？	A 13	日程が重複していなければ、いくつでも履修登録することができます。ただし、集中講義は日程的にハードですので、途中で諦めて授業や試験を受けなければ不合格になり、GPAが下がることに留意してください。

LiveCampus		 LiveCampus 通称 LC (えるしー)	
質問		回答	
Q 1	LiveCampus (LC) ってなんですか？	A 1	インターネットに接続されているパソコンにより「いつでも」「どこでも」教務に関する情報を確認したり、申し込んだりできるシステムです。使い方など詳しくは menu → キャンパスinfo からマニュアルをご覧ください。
Q 2	LiveCampusのID、パスワード（センターアカウント）を忘れました。	A 2	入学時に各人に「センターアカウント通知書」を配付しています。忘れてしまった場合、センターアカウントの認証ページで、ワンタイムパスワードを送付するメールアドレスを登録しているのであれば、センターアカウントの認証ページからパスワードリセットを行い、新しいパスワードを設定することが可能です。ワンタイムパスワードを送付するメールアドレスを登録していない場合は、学生証とセンターアカウント通知書を持参の上、情報基盤センター事務室に行ってください。なお、ID・パスワードに関して、電話での問い合わせにはいかなる理由でもお応えできません。）
Q 3	LiveCampusに接続できません。	A 4	メンテナンス期間中などはLCに接続できません。（LC上で事前にお知らせします。）メンテナンス中以外で接続できない場合は、教務情報係までお問い合わせください。 登録期間の最終日に自宅から履修登録しようとして、LCに接続できないといったことがないように、事前に接続できるか確認しておくとともに、早めの登録を心がけましょう。

開放科目		 他の学類の授業を受けたい時に読んでみよう！	
質問		回答	
Q 1	他の学類の授業も受けてみたいんですけど、そんなことができますか？	A 1	そんな時には、開放科目の受講がおすすめです。開放科目とは他学類生も受けることのできる科目です。学修案内に全学類の開放科目が掲載されていますので、自分が受けたい授業が開放科目かどうかを確認してください。また、自分が受けたい科目の時間割や休講情報などは、開講学類の時間割やLCで確認してください。
Q 2	開放科目はできるだけ履修したほうがいいんですか？	A 2	それは、自分の履修計画や、単位修得状況によりさまざまです。もちろん開放科目を履修しなくても卒業はできますが、自由選択*の単位になるので、自分の興味がある授業を受けてみるのもいいでしょう。ただし、自分の学類の必修、選択科目を優先取得した上で履修することが大切です。

※自由選択・・・カリキュラム区分のひとつ。福島大学のカリキュラムは大きく次の3つに分かれているよ。

①基盤教育・・・大学での学修の基礎を築くとともに、よりよい社会を築くための現代的教養を身につけ、問題発見・追究・解決の基本を身につけるカリキュラム区分
接続領域・・・高校までの学びを大学での学修に結びつけ、基礎教育と専門教育、学問と現実社会を接続させるための学修領域
教養領域・・・民主的な社会を築く上で必要な幅広い教養をはじめ、高度に技術が発達した現代社会を主体的に生きていくために必要な諸スキルを身につけるための学修領域
問題探究領域・・・地域課題や世界的課題を自分事として位置づけ、解決に向けて追求する方法や態度を身につけるための学修領域
②専門教育・・・基礎・基本科目の履修を重視しつつ、各学類・コースの教育目的、人材育成の目的を達成するために、専門的な知識や技術を身につける多様で体系的なカリキュラム区分
③自由選択・・・基盤教育と学類専門教育科目の他に、学生のより幅広い自由な学びを保证するためのカリキュラム区分

そして、学類ごとで違いはありますが、①～③それぞれ卒業に必要な単位数が決められているんです。学修案内の「履修基準表」を確認してみよう！

授業をやめたい(自分の意志でやめる時)「履修登録撤回」



ほんとにやめて大丈夫？

質 問		回 答	
Q 1	履修登録期間を過ぎた後に、授業を受けるのをやめたくったんですけど・・・	A 1	「履修登録撤回制度」があります。GPAを下げないためにも賢明な判断です。教務関係日程表で手続き期間を確認してください。
Q 2	履修登録撤回の手続きって面倒？	A 2	手続き期間内にLCで撤回手続きを行って下さい。LCから撤回できない科目については、所属する学類の教務課各学類係に履修登録撤回届を提出して下さい。(提出期間は学修案内や掲示板上で確認してください。) なお、集中講義は、講義開始の翌日まで撤回することができます。 ※履修登録撤回できない科目や締め切り日が異なる学類もあるので、必ず学修案内で詳細を確認してください。
Q 3	履修登録撤回をする意味は何ですか？	A 3	何の手続きもしないで勝手にやめちゃうと評価がFになり、GPAが下がってしまいますが、撤回すればGPAが下がるのを防ぐことができます。授業を受けてみて、授業内容が勉強したいものと違っていた場合や、授業についていけそうにない場合などにこの制度を利用するといいいでしょう。
Q 4	撤回すると授業時間が空くので、新しい授業を入れたいんですけど...	A 4	時間が空いても新しい授業を登録することはできません。ということは...撤回するとその学期に受けることができる授業が減ることなので、良く考えてください。
Q 5	撤回したんですけど、やっぱりまたその科目を受けたくりました。	A 5	残念ですが、今回はあきらめてください。次のセメスター以降であれば、改めて履修登録ができます。 そうならないよう撤回手続きは慎重に検討してください。
Q 6	誤って受講中の科目を撤回してしまい、元に戻せません。	A 6	自分で再登録はできません。記録されている受講情報に基づいて復旧しますので、至急教務課にご相談ください。

病気などで授業を受けることができなくなった時



入院して大学に行けなくなった！

質 問		回 答	
Q 1	病気(事故)で入院してしまい、これ以上授業を受けることができなくなりました。成績はどうなってしまうのでしょうか？	A 1	履修登録撤回の手続き期間経過後から授業期間の最終日(集中講義の場合はその最終日)までに、病気や事故などやむをえない理由で、履修登録をした科目の受講を継続することが困難になった場合などは、 <u>例外的にさかのぼって履修登録撤回を認めることがあります</u> 。入院していた証明書などを添付の上、授業期間の最終日(集中講義の場合はその最終日)までに、教務課へ申請する必要があります。手続きが認められた授業科目はすべての登録を撤回したことになり、F評価はつかないので、GPAも下がりにません。
Q 2	Q1のやむを得ない理由とはどういった場合ですか？	A 2	以下の場合になります。 ・病気や事故 ・外国の大学で学修するとき ・社会人の学生で勤務または家庭の事情で修学が困難なとき ・その他適当と認められるとき
Q 3	申請はどのようにするのですか？	A 3	履修登録撤回期間終了後から授業期間の最終日までに、その事情を証明する書類等を持参の上、教務課各学類係にご相談ください。事情を伺った上で申請書に記入・提出してもらいます。集中講義の場合は、講義最終日までに教務課各学類係に申請してください。入院中などで来学できない場合は、電話等でご相談ください。
Q 4	成績通知・単位確認表には記載されますか？	A 4	手続きが認められた授業科目はすべて登録を遡って撤回したことになり、成績通知などに記載されることはありません。当然、成績証明書にも記載されません。

Q 5	怪我の治療のための通院で毎週火曜日だけ授業に出ることができなくなりました。火曜に登録した授業科目だけ履修登録撤回できますか？	A 5	本制度では原則として、履修登録をした全ての授業科目が対象となりますが、事情によっては一部の授業科目のみの措置ができる場合がありますので、まずは教務課各学類係に相談してください。
-----	--	-----	--

GPA



詳しい計算方法などはGPA講座を読んでね。

質問		回答																														
Q 1	ジーピーイー GPAってなんですか？	A 1	<p>「G P」はGrade Pointの略で、履修した科目の評価（S、A、B、C、F）をそれぞれ4、3、2、1、0に点数化したものです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="2">学修成果</th> <th rowspan="2">評点</th> <th rowspan="2">GP</th> </tr> <tr> <th>学修成果</th> <th>評点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>S</td> <td>単位認定基準を満たし、かつすべての項目で優秀な学修成果をあげた</td> <td>90点~100点</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた</td> <td>80点~89点</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた</td> <td>70点~79点</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた</td> <td>60点~69点</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不合格</td> <td>F</td> <td>単位認定基準の学修成果をあげられなかった</td> <td>59点以下</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>そして、以下の式によって計算されたG Pの平均値をG P A（Grade Point Averageの略）といい、成績評価を示す指標になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\text{GPA(Grade Point Average)} = \frac{\text{(修得した各科目の単位} \times \text{Grade Point)の総和}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$ </div>	評価	学修成果		評点	GP	学修成果	評点	合格	S	単位認定基準を満たし、かつすべての項目で優秀な学修成果をあげた	90点~100点	4	A	単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた	80点~89点	3	B	単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた	70点~79点	2	C	単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた	60点~69点	1	不合格	F	単位認定基準の学修成果をあげられなかった	59点以下	0
評価	学修成果		評点		GP																											
	学修成果	評点																														
合格	S	単位認定基準を満たし、かつすべての項目で優秀な学修成果をあげた	90点~100点	4																												
	A	単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた	80点~89点	3																												
	B	単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた	70点~79点	2																												
	C	単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた	60点~69点	1																												
不合格	F	単位認定基準の学修成果をあげられなかった	59点以下	0																												
Q 2	GPAが高いと何かいいことがあるんですか？	A 2	<p>自分の学修の成果が数値として表されるので、努力目標を設定しやすくなり、同時に学修意欲の向上につながります。学内的には研究室配属や転学類等の要件として利用されます。また、G P Aを導入する大学が増えており、就職や大学院への進学などにG P Aが活用されることも多くなっています。</p>																													
Q 3	逆にGPAが低いと何か問題ありますか？ 留年しちゃうとか…	A 3	<p>G P Aは学修の質を示すものですので、できるだけ高いG P Aを維持できるようにがんばってください。G P Aが低調だと成績不良者として面談対象になる場合もあります。また、転学類等の要件や学類によっては研究室配属の要件にもなっていて、G P Aが低いとそれらを満たさない可能性が高まります。その他、就職の際にもG P Aを参考にする企業等があります。G P Aが低くて問題ないということはまったくありません。</p>																													
Q 4	GPAが大学で利用されることはありますか？	A 4	<p>セメスターごとに「成績通知・単位確認表」や「成績証明書」に、履修登録したすべての科目（履修登録撤回科目を除く）のG P Aが記載され、それらG P Aをもとに学習指導や学習相談などが行われたり、転専攻や転学類等の要件になったり、ゼミや研究室配属の判断材料となっています。詳しくは学修案内で確認してください。その他、奨学金の受給基準などにも使われています。</p>																													

再履修



F評価は再チャレンジできるよ

質問		回答	
Q 1	評価が「F」だった… GPAが下がっちゃう！！	A 1	<p>不合格（F）になった科目は再び履修でき、合格すればFの記録が上書きされます（これを「再履修」といいます。）。当然G P Aも上がります。</p>
Q 2	再履修…なにか手続きは必要ですか？	A 2	<p>基盤教育の語学科目など事前登録が必要な科目は手続きしなければなりません。ほとんどの場合は再履修のための特別な手続きは必要ありません。通常の履修登録の手続きを行ってください。</p>
Q 3	C評価の科目をもう一回がんばって、Sに変えたいんですが、再修得できますか？	A 3	<p>修得済みの単位を再度修得する再修得制度はありませんので、他の科目で頑張ってください。</p>

成績		成績!?	
質問	回答	質問	回答
Q 1	成績はどのように発表されますか？	A 1	LC上で発表します。成績発表日は、学修案内の「教務関係日程表」（教務課HP）に記載しています。
Q 2	LiveCampusから成績を見ることはできますか？	A 2	発表されている成績は、メンテナンス期間等を除き、いつでもLC上で確認することができます（成績ダッシュボード→成績詳細→成績通知書印刷）
Q 3	LiveCampusから出力できる「成績通知・単位確認表」は自動発行機から発行される「成績証明書」とは違うのですか？	A 3	「成績通知・単位確認表」には、不合格を含め、登録したすべての科目の成績が記載されています。一方、自動発行機から発行される「成績証明書」には合格した科目の成績のみ記載されています。なお、GPAは両方に記載されています。
Q 4	成績に納得がいかないのですが!?	A 4	成績評価について疑問がある場合、不服申立てを行うことができます。不服申立ては、「シラバスの記載と異なる」など合理的かつ具体的な根拠をあげる必要があります。所定の期間にLC上で、不服申立ての申請を行って下さい。「毎回出席してがんばったのにこの成績は納得いかない」のような抽象的で根拠のない申し立てはできません。

自主学修プログラム		講義科目ではないよ	
質問	回答	質問	回答
Q 1	自主学修プログラムってなんですか？	A 4	問題探究領域に区分される科目です。学生自らが学修課題を設定し、学修集団の中で成果をまとめるプログラムです。ぜひチャレンジしてみてください。活動にはいくつか条件があるので学修案内で確認してください。

基盤教育(教養領域、接続領域、問題探究科目)のクエスト		基盤教育??	
質問	回答	質問	回答
Q 1	受講調整ってなんですか？	A 1	教室収容人数には上限がありますので、教室の収容人数を超える履修希望者がいた場合に、やむを得ず人数を制限することです。基盤教育科目は、LC上で、希望申請・抽選が行われますので、日程や方法を学修案内や掲示板等で確認してください。また、希望申請をただけでは履修登録をしたことにはなりませんので、結果発表日に各学類や基盤教育の掲示板で必ず抽選結果を確認してください。（再履修科目など一部はLCによらず、教務課各学類係で受け付ける科目がありますので、掲示に注意してください。）その他、耐震工事などにより一定期間一部教室が使えなくなり、調整が必要になる場合や、教育効果の観点から人数上限を設定する場合もあります。
Q 2	受講調整の結果、第1希望科目の抽選に落ちてしまったのですが、どうしたらいいですか？	A 2	残念ながら、落選した科目は履修登録できません。第2希望・第3希望の順で自動で受講調整となりますが、第1希望しか申請しなかった場合は、別日程で設定される2次受付にまわりますので、忘れずに手続きをお願いします。詳細については、学修案内や掲示板を確認してください。
Q 3	学術基礎科目や問題探究科目の履修希望1次受付で、やむを得ず申請できなかった場合、どうしたらいいですか？	A 3	基盤教育係にご相談ください。
Q 4	【スポーツ実習等】スポーツ実習や健康運動科学実習で受講調整はありますか？	A 4	種目間の人数が偏りすぎた場合、第1回目の授業の際に受講調整を行うことがあります。第1回目の授業には必ず出席してください。

Q	5	【学術基礎科目】 曜日・時限が違えば学術基礎科目のローマ数字の同じ科目を履修することはできますか？ (例1：心理学 I O1と心理学 I O2)	A	5	「例1」の場合、ローマ数字の同じ科目は同一科目なので、曜日・時限が異なっても履修することはできません。科目名の後の二桁の算用数字はクラス分けを示しています。ローマ数字が異なる場合（例2：心理学 I と心理学 II）は、異なる科目なので、どちらも受講することができます。
Q	6	【情報科目】 前期で情報科目の単位を取れなかったため後期でも情報科目を履修したいのですができますか？	A	6	基盤教育係窓口にご相談ください。
Q	7	【日本語】 「日本語」「日本事情」は日本人でも履修することができますか？	A	7	「日本語」「日本事情」は外国人留学生対象なので、留学生以外の履修は認めていません。

基盤教育(外国語科目)のクエスチョン



非英＝英語以外の外国語

		質問			回答
Q	1	【英語】 前期の英語の単位を落としてしまいました。後期の英語は履修できますか？	A	1	前期に単位を修得できなかった場合でも、後期の英語は履修することができます。 前期に修得できなかった英語科目は学修案内や掲示を確認し、所定の手続きをとったうえで、再履修してください。(英語 A I を落とした場合は英語 A I を、英語 A II を落とした場合は英語 A II の再履修が必要です。) 語学の要卒単位は、学類によって異なるので、必ず履修基準表を確認してください。
Q	2	【英語】 前期と後期で別のクラスの授業を履修できますか？	A	2	後期の所属クラスは前期と同一教員になります。同一教員のクラスが後期に開講されない場合は、前期のクラス教員の指示に従ってください。 (例：前期 英語 A I 01 → 後期 英語 A I 11) ただし「英語 A I・A II」「英語 B I・B II」ともに通常クラスから「上級クラス」「基礎クラス」への変更に限り認められます。学修案内や掲示を確認し、所定の手続きをとった上で、履修してください。
Q	3	【英語】 専門科目と同じ曜日・時限なので、重ならない他学類指定の英語を履修することはできますか？	A	3	他学類指定のクラス※は原則履修できません。ただし、4年次生で自分が所属している学類指定の英語のクラスと必修の専門領域科目が同じ曜日・時限に開講している場合は、基盤教育係にご相談ください。
Q	4	【英語】 英語 A と B を同時に履修することはできますか？	A	4	3セメスター以降であれば英語 A・B を同じセメスターに受講することができます。
Q	5	【英語と非英】 応用英語や非英応用 I、II では受講調整はありますか？	A	5	クラスによっては受講調整を行う場合があります。必ず第 1 回目の授業に出席して担当教員の指示に従ってください。
Q	6	【非英】 再履修で、専門必修又は専門科目と曜日・時限が重複するので、他学類指定の非英基礎を履修することはできますか？	A	6	再履修の場合は他学類指定の非英基礎を履修できます。基盤教育係にご相談ください。
Q	7	【非英】 非英基礎 I の単位を落としてしまいました。基礎 II は履修できますか？	A	7	基礎 I を落とすと、基礎 II を履修できません。基礎 I は前期に、基礎 II は後期にしか開講されませんので、翌年、基礎 I を再履修してください。(基礎 I を落とした場合は基礎 I を、基礎 II を落とした場合は初基礎 II の再履修が必要です。) 語学の要卒単位は、学類によって異なるので、必ず履修基準表を確認してください。

※ 他学類指定のクラス・・・語学では、学類ごとに受講できるクラスが決まっているので、通常、他の学類のクラスを受講できません。

学外での学修



大学の授業以外にも単位がもらえるものもあるよ

質 問		回 答	
Q 1	英語の検定試験に合格すると単位を認定してもらえるって本当ですか？	A 1	<p>本当です。在学中に下記の条件で検定試験に合格したら、申請期間を確認の上、基盤教育係で申請してください。自由選択科目として単位認定を受けることができますよ。ただし、卒業に必要な単位として計算されるのは4単位までです。</p> <p>対象となる検定等は「実用英語技能検定」をはじめ多種あり、それぞれ規定のスコアを設定しています。詳しくは学修案内の「2019年度入学生からの英語に係る技術審査の単位認定に関する要項」のページで確認してください。</p>
Q 2	非英でも、検定試験に合格すると単位を認定してもらえるって本当ですか？	A 2	<p>本当です。検定試験に合格したら、基盤教育係で申請してください。取得している級と同レベル科目の単位認定を受けることができます。</p> <p>対象となる検定等は「ドイツ語技能検定試験」をはじめ多種あり、それぞれ規定のレベル（級）に応じて認定科目も異なってきます。詳しくは学修案内の「2019年度入学生からの英語以外の外国語に係る技能審査の単位認定に関する要項」のページで確認してください。</p>
Q 3	語学研修（留学等）に参加した場合も単位を認定してもらえるって聞いたんですけど…？	A 3	<p>英語・非英のどちらの語学研修でも単位を認定します。詳しい内容は学修案内で確認してください。（語学研修に係る学修の単位認定に関する要項）</p>
Q 4	他の大学の授業が受けられるって聞いたんですけど…？	A 4	<p>それは、単位互換制度のことですね。</p> <p>福大に在学したまま他大学等の授業科目を履修して、他大学等で修得した単位を福大で修得したものとみなすことができる制度です。</p> <p>茨城大学・宇都宮大学との単位互換は1年次後期から、福島県内13の大学等との単位互換は2年次から履修できます。</p> <p>ホームページも見てみましょう。 http://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/c_gokan-01.html</p> <p>希望する人は「履修願様式」を教務企画係まで提出し説明を受けて下さい。</p>

授業を欠席



急病による欠席とか。。。

質 問		回 答	
Q 1	病気、事故等で授業を欠席する場合はどのような手続きをしたらいいですか？	A 1	<p>欠席届の用紙はありませんので、直接各授業科目の担当教員へ連絡してください。</p>
Q 2	体調がすぐれず、授業を欠席しました。診断書もとれませんでした。が、成績評価で不利な扱いは受けられないのでしょうか？	A 2	<p>欠席した授業を担当している先生に事情を説明してください。普段から体調管理には気をつけましょう！</p>
Q 3	教育実習、介護等体験、保育実習、心理実習、裁判員招集、博物館実習、社会教育実習で授業を休まなければいけないのですが…？	A 3	<p>これらの期間中は「授業欠席に関する取り扱い」に該当します。教務課各学類係に申請書がありますので各授業科目の担当教員に提出してください。</p> <p>欠席期間中の課題等については、担当教員に確認してください。</p>
Q 4	インフルエンザにかかっちゃいました・・・	A 4	<p>登校せず、まずは教務課各学類係に電話連絡してください。学校保健安全法に基づく規定に基づく学長による出席停止の指示となる場合、「授業欠席に関する取り扱い」に該当します。はしか・風しん・水ぼうそう等についても同様です。その後、医師による治癒の診断や解熱後2日間が過ぎてから出席を再開し、教務課各学類係において申請をしてください。</p> <p>なお、出席停止になったからといって、課題等が免除されるわけではありません。復帰後、担当教員に課題等の有無を確認してください。</p>

Q	5 親族の葬儀があるので、授業を休みたいのですが？	A	5 親族が死亡した場合で、葬儀その他の親族の死亡に伴い必要と認められる行事等のために通学ができないときは「授業欠席に関する取り扱い」に該当します。なお、該当する親族の範囲は①配偶者、②一親等（父母、子）、③二親等（祖父母、兄弟姉妹、孫）で、欠席が認められる期間は①、②の場合、連続7日間（休日を含む）の範囲内の期間、③の場合、連続3日間（休日を含む）の範囲内の期間となります。 欠席期間中の課題等の有無については、担当教員に確認してください。
Q	6 新型コロナ感染症に罹患したかも？	A	6 【授業における新型コロナウイルス感染症への対応について】 新型コロナウイルス感染症は、R5.5月から感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、それに伴って学校保健安全法施行規則上の取り扱いなども変更となります。それを受けて、福島大学として以下のように対応しますのでお知らせします。 （1）陽性者となった場合 「出席停止措置」の対象となり、授業は欠席してもらいますが欠席時数に算入しません。症状が軽快した後、教務課窓口で「授業欠席に関する申請書」を提出する際に、「新型コロナウイルス感染症 罹患に係る申出書」（教務課）を併せて提出してください。医療機関による証明書等の添付は必要ありません。教務課で確認を受けたら、申請書のコピーを授業担当者に提出してください。 出席停止措置（＝欠席扱いにしない）期間は、発症日を0日目として5日目に当たる日まで、あるいはその時点でまだ症状がある場合は、症状が軽快した後、24時間を経過した日までになります。また復帰後も、咳が続く場合があるので、発症から10日を経過するまではマスクの着用を推奨します。 （2）濃厚接触者について R5.5月から、新型コロナウイルス感染症の「濃厚接触者」の概念は無くなりましたので、同居家族等に陽性者が出た場合でも通学することができます。ただし、自分自身の体調管理やマスク等の感染予防を万全に行い、万が一感染を疑う症状が出た場合は、早急に医療機関で診断を受けてください。 （3）課題等について 出席停止になったからといって、課題等が免除されるわけではありません。復帰後、担当教員に課題等の有無を確認してください。



質問		回答	
Q 1	正規試験と平常試験の違いはなんで すか？	A 1	正規試験とは、学期末に設けられている「試験期間」中に試験規則に基づいて実施される試験です。正規試験には追試験制度もありますので、学修案内に載っている試験規則をよく読んでおいてください。 平常試験は、授業期間や補講期間など、その科目の授業時に行われる筆記テストやレポート提出のことでです。
Q 2	試験なのに寝坊しちゃいました。試験開始時間に間に合いそうにありません！！	A 2	試験開始時間から30分以内なら、まだ試験は受けられます。あきらめずに大学へ急ぎましょう！（慌てず、事故など起こさないよう気をつけて）
Q 3	正規試験を受けないとどうなりますか？	A 3	正規試験を受けなかった場合、いくら授業へ出席し、レポート等の課題を提出していても、成績がFになってしまいます。
Q 4	追試験は什么时候に受けることができるのですか？	A 4	病気・電車等公的交通機関の遅れ・忌引き・就職試験など、やむを得ず正規試験を欠席した時にのみ追試験を受けることができます。 試験の出来が悪かった時の救済措置ではありません！
Q 5	追試験を受ける為にはどのような手続きが必要なのですか？	A 5	追試験を希望する場合は、すぐに教務課各学類係に来てください。「追試験受験願」をお渡ししますので、証明書を添えて決められた期間内に各学類係に提出してください。 なお、平常試験には追試験制度はありませんので、病気等で休んだ場合は担当の先生に直接相談してみてください。
Q 6	追試験を受けると何か不利になることはありますか？	A 6	追試験を受けたからといって、不利になることはありません。成績についても通常の試験と同じ基準で評価されます。
Q 7	カンニング（不正行為）…絶対やっちゃダメですよね？	A 7	カンニング（不正行為）をすると、その学期の履修登録をすべて取り消されます。半期の成績が“0単位”になるので、4年での卒業ができない場合もあります。懲戒処分として1ヶ月の停学になりますので、絶対にしないでください。

カンニングは
絶対ダメ！！



証明書



窓口で証明書を頼んだ時の出来上りは翌日になるよ！

質 問		回 答	
Q 1	証明書が欲しいのですが？	A 1	<p>次の証明書が欲しい時は、S棟2階（教務課前）の自動発行機を利用しましょう。</p> <p>【運用時間】8:30～20:30（日・祝日や入構禁止日を除く）</p> <p>【自動発行機で取れる証明書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在学証明書 ○成績証明書 ○卒業（修了）見込証明書 ○旅客運賃割引証（学割証） ○通学定期乗車券購入用証明書（JR） ○教育職員免許状取得見込証明書 ○健康診断証明書 <p>上記以外の証明書は教務課各学類係にご相談ください。 過年度生の卒業見込み証明書（9月卒業）については、日付が異なる可能性があるため、教務課各学類係にご相談ください。</p>
Q 2	自動発行機のID・パスワードが分かりません…！？	A 2	ID・パスワードは、LCのログイン時と同じID・パスワードになります。
Q 3	「卒業見込証明書」が発行できないのですが…？	A 3	<p>「卒業見込証明書」は4年生にならないと発行できません。また、証明書はLCの就職システムに進路の志望情報を登録している学生にのみ発行されます。システムへの入力方法は3年次5月の就職ガイダンスでお知らせします。</p> <p>過年度生で9月卒業を希望する場合は、卒業見込日を変更する必要がありますので、教務情報係にご相談ください。</p>
Q 4	「成績証明書」にGPAは記載されるのですか？	A 4	はい、記載されています。
Q 5	証明書を発行している途中で、取扱中止になりました。どうしたらいいのですか？	A 5	次の利用者のためにもお手数ですが、教務情報係までお知らせください。すぐに原因を調査し、復旧作業に入ります。
Q 6	内定先から「成績証明書」を厳封で提出するように言われたのですが、どうすればいいのですか？	A 6	まず、証明書自動発行機で証明書をとり、それを教務課各学類係まで持ってきて「厳封（げんふう）での作成」をご依頼ください。封筒に入れ封印してお渡しします。（成績証明書などは一般に改ざん防止のため「厳封」された証明書原本の提出が求められます。）
Q 7	内定先から「成績証明書」を電子証明で提出するように言われたのですが、どうすればいいのですか？	A 7	教務課各学類係にご相談ください。
Q 8	知人や卒業した先輩の証明書をもってきてもらうように頼まれました。どうすればいいのですか？	A 8	<p>証明書の発行は、原則として本人からの申込みのみ受け付けています。卒業生の方の証明書発行方法は本学ホームページで案内していますので、そちらで確認するように伝えてください。</p> <p>https://www.fukushima-u.ac.jp/graduate/certificate/certificate.html</p>
Q 9	健康診断証明書は、いつから発行できますか？	A 9	入学後、自動発行機で5月中旬から発行予定です。詳しくは掲示板をご覧ください。（健康診断自体は4月に実施）

資格



学類によって取得できる資格に違い
がありますよ!!

	質 問		回 答
Q 1	教員免許を取りたいのですが、どうすればいいですか？	A 1	どの学類も事前登録が必要です。各学類で取得できる免許種が決まっていますので、学修案内でよく確認してから手続きを行ってください。手続期間も決まっていますので、掲示も確認しておきましょう。
Q 2	教員免許の取得希望の申し込みをしたのですが、やっぱりやめることにしました。何か手続きはありますか？	A 2	教員免許状放棄届を出してもらう必要がありますので、教務課各学類係まで来てください。
Q 3	学芸員の資格を取りたいのですが、どうすればいいですか？	A 3	学芸員の資格が取れるのは、行政、理工の学生のみです。ガイダンスを行い、そこで選考を行いますので必ず参加してください。なお、掲示、学修案内をよく見ておいてください。
Q 4	社会福祉主事 or 社会教育士・主事の資格を取りたいです。どうすればいいですか？	A 4	社会福祉主事と社会教育士・主事は、都道府県、市町村等において特定の業務に任用される時に必要となる基礎資格もしくは任用資格です。詳しくは学修案内等で確認して下さい。
Q 5	保育士の資格を取りたいのですが、どうすればいいですか？	A 5	保育士の資格が取れるのは、人間発達文化学類生のうち、心理学・幼児教育コース所属の方のみです。ガイダンスを行いますので、必ず参加してください。なお、学内定員があり、希望者が多い場合は選考を行います。
Q 6	図書館司書の資格は取れますか？	A 6	本学では、図書館司書資格取得のための科目を開設していないため、資格は取れません。
Q 7	日本語教員の資格を取りたいのですが、どうすればいいですか？	A 7	人間発達文化学類で「日本語教員養成コース」を設置しています。履修基準に定められた単位を修得すれば「福島大学日本語教員養成コース修了証」が得られます。詳しくはガイダンスで説明します。必ず参加してください。 (現在は募集停止中)
Q 8	(財)日本体育協会公認スポーツ指導者の資格をとりたいのですが、どうすればいいですか？	A 8	(財)日本体育協会公認スポーツ指導者の資格を取得するためには、協会が主催する講習会を受講しなければなりません。人間発達で特定の基準を満たし申請することで、その講習の免除資格が取得できます。詳しくは体育科教員に確認してください。
Q 9	福島大学で取得可能な資格の一覧表はないですか？	A 9	ホームページの「資格」の頁を参照ください。 https://www.fukushima-u.ac.jp/university/known/qualification.html



教員免許状や資格は欲しいけど、やることいっぱいの大変な道なのだ!

特修プログラム



自分の能力を更に伸ばせる特別プログラムだよ。
詳しくは学修案内を確認しよう！

	質問		回答
Q 1	グローバル特修プログラムってなんですか？	A 1	異文化理解やグローバルな教養を身につけることを目的とした「グローバル教養プログラム」、英語力を強化し、より実践的な海外留学等支援のための「英語グレードアッププログラム」の二つを提供しています。卒業要件とは別に履修基準が決められており、必要単位数を満たすとそれぞれプログラムに応じた修了認定が受けられます。就職活動等にも役立てることができますよ。
Q 2	「地域×データ」実践教育プログラムってなんですか？	A 2	「地域×データ」実践教育プログラムは、地域に根ざした学修とデータにもとづく学修を幅広く体験できるよう基盤教育科目と学類専門教育科目とを組み合わせ合わせたプログラムです。本学の特徴ともいえる「正解のない問い」にチャレンジする学生を育成する科目の中心的な位置づけとなる特修プログラムです。より実践的な力を身につけたい学生は「むらの大学」などのプロジェクト科目を受講し、「自主学修プログラム」などを利用して複数年にわたってプロジェクトを継続します。一般的には、「ふくしま未来学入門Ⅰ」および「ふくしま未来学入門Ⅱ」などの「地域×データ」実践教育プログラム科目を受講し、卒業要件に定められた単位の他に、履修基準表に示す要認定単位数（30単位）を修得することで「地域×データ」実践教育プログラム修了と見なします。
Q 3	グローバル特修プログラムを受けるための手続きは必要ですか？	A 3	人間発達の学生は、4セメスター終了時点で「希望申請用紙」を提出し、認定基準を満たした時点で「認定申請用紙」を提出してください。経済の学生は新入生学内ガイダンスの説明を聞き、登録してください。その他の学類生は、事前の申込みは必要ありません。
Q 4	特修プログラムの修了証はどのように申請したらよいですか？	A 4	各特修プログラムの単位を満たした時点で「認定申請用紙」を教務課各学類係に提出してください。「地域×データ」実践教育修了証は申請不要で、卒業時に交付されます。

他の大学に移る・他の学類に移る・他の専攻に移る(転学・転学類・転専攻)





転学したい！

	質問		回答
Q 1	他大学へ編入学したいのですが、福大ではどのような手続きをしたらいいですか？	A 1	他大学の編入学試験に合格した場合は、他大学入学前に本学で退学の手続きが必要になります。なお、福大で取得した単位も編入学先で認定されることもありますので、決して福大でとった単位は無駄になりません。詳しくは編入先の大学にお問い合わせください。
Q 2	転学類（他の学類に移ること）はできますか？	A 2	各学類で修得単位数、GPA等、転学類の出願条件が決められています。選考は3セメスター時に面接など各学類の選考方法によって実施し、4セメスターから転学類することになります。（一部学類では選考セメスターが異なる場合がありますので、学修案内や掲示を確認してください。）転学類をすることにより4年間で卒業できないこともあり得ますし、その後の学生生活に大きく影響しますので、安易に転学類はしないようにしてください。それでも転学類を希望する場合は、教務課各学類係に相談に来てください。出願条件や申請期間等は各学類掲示板に掲載されます。
Q 3	転コース（同じ学類内の他のコース※に移ること）はできますか？	A 3	各学類で申請時期、条件等が違います。修得単位数やGPAを条件とする学類もあります。教務課各学類係にご相談ください。

※コース・・・皆さんが興味・関心をもった学問分野を系統的に学修していくために設けられた所属単位。
各学類では、以下の時期に専攻に所属することになります。

人間発達文化学類・・・入学時 行政政策学類・・・3セメスター 経済経営学類・・・4セメスター
共生システム理工学類・・・3セメスター 食農学類・・・4セメスター

休学		 休学の理由は結構限定されるのだ!	
質問		回答	
Q 1	休学したいのですが・・・	A 1	まずは早めに各学類係相談にご相談ください。休学するには理由とその状況を明らかにできる証明書（診断書等）が必要です。病気その他特別の理由により、引き続き3ヶ月以上修学できないといった時には教務課各学類係に「休学願」を取りに来てください。
Q 2	他の大学を受験しなおしたいのですが、休学できますか？	A 2	残念ながら特別な理由にはあてはまりませんので、認められません。
Q 3	どれくらいの期間、休学できますか？	A 3	3ヶ月以上1年以内です。ただし、特別な理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができます（通算して2年を超えることはできません。）。休学した期間は在学期間に算入されませんので、卒業するためには、休学期間を除いて最低4年間在学する必要があります。
Q 4	休学期間が終わったのですが、何か手続きが必要ですか？	A 4	休学を許可された期間が終わる前に、延長の申し出がなかった場合には、自動的に復学となりますので、何らかの手続きは不要ですが、休学を延長する場合は、「休学願」の申請が必要になりますので早めに申し出てください。
Q 5	休学中ですが、休学の理由もなくなったので休学期間の途中から復学したいのですが・・・	A 5	まずは教務課各学類係にご相談ください。支障がないと判断できたら「復学願」を受け取り、保護者・指導教員の承認印をもらい、復学が可能であることを証明する証明書を添付して、各学類係に提出してください。なお、追加で履修登録はできませんし、復学によって期間に応じた授業料債権が発生しますので、事前に教務課各学類係に復学についてご相談ください。
Q 6	休学中の授業料はどうなるんですか？	A 6	休学中は原則として授業料は免除されますが、休学を許可される時期により、一部免除されない場合もありますので、教務課各学類係で確認してください。

退学・除籍		 退学？除籍？	
質問		回答	
Q 1	いろいろ考えましたが、退学しようと思うのですが・・・	A 1	ちょっと待ってください。アドバイザー※の先生に相談したり、学生総合相談室※でお話ししてみましたか？相談した上で、それでも退学の意思が変わらない場合は、教務課各学類係に「退学願」を取りに来てください。
Q 2	退学すると払った授業料は戻ってきますか？	A 2	残念ながら戻りません。各 Semester（前期4月～9月・後期10月～3月）に1日でも在籍すれば、在籍していた Semester の授業料は全額納入しなければなりません。例えば前期末（9月30日）で退学しようとする時は、前期分の授業料を納入し、9月中旬までに退学願を提出、9月30日までに許可を得る必要があります。退学を決めたら、余裕を持って手続きをしましょう。
Q 3	退学と除籍って何が違うんですか？	A 3	通常、退学は自分の意志で大学をやめることであり、除籍は大学からやめさせられることです。（除籍となった場合でも、在学期間中の学籍が抹消される訳ではありません。）
Q 4	除籍ってどんな時にされるんですか？	A 4	1. 8年かかっても、卒業要件を満たせなかった時 2. 入学料及び授業料を期日までに納めなかった時 3. 病気その他の理由により成業の見込みがないと認められた時などです。

※アドバイザー・・・学生生活、とくに履修計画や成績などの、学修に関わる相談や指導を行う先生。
通常は、入学時に所属したスタートアップセミナーや問題探究セミナー、そして2年次以降の演習の先生がアドバイザーになります。

※学生総合相談室・・・学生生活や進路、人間関係など、皆さんのさまざまな悩みや質問に、専門のカウンセラーが応じてくれます。生協や学食がある学生会館2Fに部屋があるので悩みがある時は気軽に訪ねてみてください。

再入学



再入学って…？

	質問		回答
Q 1	再入学ってなんですか？	A 1	退学（除籍）した学生が、在籍していた学類に復帰して卒業を目指す制度です。再入学について詳しく知りたい場合は、教務課各学類係に相談してください。

いろいろなクエスチョン



Various questions !

	質問		回答
Q 1	自分の住所（電話番号やメールアドレス）が変わりました。必要な手続きはありますか？	A 1	LCで、メニュー画面→「学生情報詳細」画面→「学籍」を選択し、登録内容を修正してください。保護者（実家）の住所が変更になった場合も同様です。卒業に関わるような重要な連絡をする場合がありますので必ず修正してください。
Q 2	授業に行ったのに先生が来ません！どうすればいいんでしょう？？	A 2	1. 休講になっていないか、2. 教室変更になっていないか、掲示板を確認しましょう。 3. それでもわからない時は、教務課各学類係に聞きに来てください。 ※なお、授業開始から30分経っても担当教員からの連絡がない場合、その授業は休講になります。
Q 3	先生の研究室を訪ねたいのですが、場所がわかりません。	A 3	LCから閲覧可能です。 ①LC (https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/) にログイン ②メニューから「 キャンパスinfo 」を選択 ③「学内共有ファイル」を選択 ④「学内教員電話番号表」から電話番号（外線）、研究室が確認できます。（PDFデータで文字検索が可能なデータになっています） ※事前にアポイントが必要な場合があるので、シラバスを確認しましょう。
Q 4	非常勤の先生と連絡が取りたいのですが？	A 4	非常勤教員の連絡先は公開していません。また研究室を持っていないので、教務課各学類係にご相談ください。
Q 5	今日が提出物の締切日なのですが、具合が悪くて大学にいけません。どうすればいいですか？	A 5	担当教員に問い合わせてください。緊急の場合は、教務課各学類係に電話連絡してください。
Q 6	卒業できるか不安です。単位が取れているか確認してもらえますか？	A 6	卒業に関する確認は、まずは履修基準表と最新の成績情報を見ながら自分でやってみてください（友達と一緒に確認するのをお勧めします）。それでも不明な部分があればアドバイザーの先生に質問したり、教務課各学類係にご相談ください。
Q 7	忘れ物をしました。探してみただけど見つかりません…	A 7	届けられた忘れ物は、学生支援課（S棟1階）で保管していますので、おたずねください。（忘れ物や落とし物を発見した際は、学生支援課に届け出いただくようご協力お願いします。）
Q 8	学内で怪しい人物、危険な箇所を発見しました！どうしたらいいですか？	A 8	大至急、学生支援課又は教務課各学類係の職員や近くの教職員までお知らせください。
Q 9	授業以外の目的で、プロジェクターや、パソコン、OHCなどを教務課から借りることはできますか？	A 9	貸出は行っていません。
Q 10	学生証をなくしちゃいました（学生証が割れちゃいました）どうしたらいいですか？	A 10	教務課で学生証の再発行手続きをしてください。なお、再発行手数料がかかりますので学生証は大切にしてください。
Q 11	改姓はどのような手続きをしたらいいですか？	A 11	「改姓届」を教務課各学類係でもらうか、教務課HPより各自印刷して手続きしてください。戸籍抄本が必要になりますので準備してください。
Q 12	このQ&Aを見ても、自分の疑問が解決しません！！	A 12	そんな時は遠慮なく教務課各学類係にご相談ください♪

キュー先生とアンサー君のGPA講座

第一章 GPAってなに？ まずはGPAを覚えよう！



GPAってなんですか？



Grade Point Averageの略で、簡単にいうと、履修した全科目の1単位あたりの成績の平均を数値で表したものです。この制度について、順を追って詳しく説明していきましょう。

では、まず、下の表を見てください。

	評語	学修成果	評点	GP
合格	S	単位認定基準を満たし、かつすべての項目で優秀な学修成果をあげた	90点～100点	4
	A	単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた	80点～89点	3
	B	単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた	70点～79点	2
	C	単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた	60点～69点	1
不合格	F	単位認定基準の学修成果をあげられなかった	59点以下	0

これは、成績評価を示す表です。この表にあるS、A、B、C、Fの評価が成績表に記載されます。そして、評価に対してGPという値が設定されています。これはグレードポイントといい、評価に対する点数と思ってもらうと分かりやすいですね。



この表がGPAとどう関係するんですか。



では、次の式を見てください。この式によって計算された値がGPAです。

$$\text{GPA (Grade Point Average)} = \frac{\text{(修得した各科目の単位} \times \text{Grade Point) の総和}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

分かりやすい例をあげてみましょう。

例えば、アンサー君の成績が右の表だったとします。

(実際の成績表では、F評価の単位は表示されません)

科目名	単位	評価	年度
文学 I	2	S	○○○
生命の科学	2	A	○○○
社会論	2	B	△△△
英語 A I	1	F	○○○

このときのGPAは、

$$\text{GPA} = \frac{\text{(文学 I の単位} \times \text{評価 A の GP} + \text{生命の科学の単位} \times \text{評価 B の GP} + \text{社会論の単位} \times \text{評価 C の GP} + \text{英語 A I の単位} \times \text{評価 F の GP})}{\text{(文学 I の単位} + \text{生命の科学の単位} + \text{社会論の単位} + \text{英語 A I の単位})}$$

$$= \frac{(2 \times 4 + 2 \times 3 + 2 \times 2 + 1 \times 0)}{2 + 2 + 2 + 1} = \frac{18}{7} = 2.57$$



となります。

ここで注意しなければいけないのは、**分母が「履修登録単位数の合計」**(成績の如何は関係ない)であるということです。履修登録の際に、安易にたくさんの科目を登録して、十分な学習ができないまま低い評価をたくさん修得してしまうと、GPAが低くなってしまいます。(安易にたくさんの科目を登録して1科目の勉強がおろそかにならないよう、**履修登録単位数の上限が設けられていて、これをCAP制度といいます。**CAP制度については第四章でもう一度簡単に説明しますね。)

GPAは履修した科目全体の学修成果を数値で表すものです。GPAが高いほど成果が上がっていること、逆に低ければ成果が十分に上がらなかったことを意味していますので、できるだけGPAを高く維持するよう努力してください。また、上の説明でも分かったと思いますが、単位数を多く修得すること、GPAとは関係がありません。ですから、十分な学修計画を立てた上でどの科目を履修するか決定し、履修すると決めた科目については、しっかり勉強して高いGPを獲得するようがんばりましょう。



はい、分かりました。それはそうと、自分でGPAがちゃんと計算できるか心配なんですけど。



大丈夫。成績表にちゃんと出ますよ。

【Point】

$$\text{GPA (Grade Point Average)} = \frac{\text{(修得した各科目の単位} \times \text{Grade Point) の総和}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

• GPAは成績表に記載される

キュー先生とアンサー君のGPA講座

第二章 F評価に関するあれこれ 不合格になってもあきらめない！



GPAについては理解できましたか。



はい理解できました。GPAとは履修した全科目の1単位あたりの成績の平均値で、この値が高いと学修の成果がよく出ていて、低いと理解度が薄いということですね。



そうです。特にFは不合格ということでその科目の単位を修得していませんし、Fが多ければ多いほどGPAが低くなってしまいます。不合格にならないようしっかり勉強してくださいね。

では、ここからはGPAを計算する際にF評価で注意しなければいけない点を説明していきます。下の成績の例を見てください。

科目名	単位	評価	年度
文学 I	2	S	〇〇〇
生命の科学	2	A	〇〇〇
社会論	2	B	△△△
英語A I	1	F	〇〇〇
英語A I	1	F	△△△

英語A I の評価が〇〇〇年度、△△△年度ともFになっています。不合格になった科目は次学期以降何度でも再チャレンジすることができ、これを**再履修**といいます。そして**成績通知表には再履修したすべての履歴が記載される**ことになります。



じゃあ、この場合のGPAは・・・

$$\text{GPA} = \frac{(2 \times 4 + 2 \times 3 + 2 \times 2 + 1 \times 0 + 1 \times 0)}{2 + 2 + 2 + 1 + 1} = \frac{18}{8} = 2.25$$

ということですね。



と、言いたいところですが、実は違います。



え、？違うんですか？



再履修した科目については、最新の成績のみがGPAの計算対象になります。この場合、「英語A I」は△△△年度の「F」のみ計算対象になるということです。したがって、

$$\text{GPA} = \frac{(2 \times 4 + 2 \times 3 + 2 \times 2 + \underline{1 \times 0})}{2 + 2 + 2 + \underline{1}} = \frac{18}{7} = \underline{2.57}$$

ということになります。



へえ～。再履修した科目は最新の評価だけが計算されるんですか。じゃあ、上の表で△△△年度の英語A I が「S」だった場合はどうなるんですか。



△△△年度の英語A I の評価が「S」ということは再履修して合格したということになりますね。この場合も考え方は同じです。**再履修した科目は最新の成績のみがGPAの計算対象になる**ので、△△△年度の英語A I の評価「S」だけが計算され、〇〇〇年度のFは計算されません。

再履修して合格した場合は、実質的には成績を上書きしたということになりますね。

では、この例の場合は、GPAはいくつになるでしょうか？ 皆さん計算してみてください。（本ページの最後を見てくださいね。）

逆の見方をすると**Fのまま上位成績で上書きしないと、GPAを下げたままになる**、ということですね。

あと、注意点がひとつ。第一章で簡単に言いましたが、履修登録できる単位数には上限(Cap)があります。再履修はCapの範囲内で行うものなので注意してくださいね。

【Point】
再履修した科目は成績表にすべて記載されるが、GPAとして計算されるのは最新の成績1つのみ！！

(解答)

$$\text{GPA} = \frac{(2 \times 4 + 2 \times 3 + 2 \times 2 + 1 \times 4)}{2 + 2 + 2 + 1} = \frac{22}{7} \approx 3.14$$

キュー先生とアンサー君のGPA講座

第三章 GPA対象外科目 GPAとして計算されない科目もあるよ



実はすべての科目がGPAの対象になるわけではないということを知っていますか。「本学ですべてを評価しない科目(合格【G】や認定【N】で評価される科目)」等はGPAの計算対象にはならないんです。具体的には、下記の科目です。他にも学類ごとに対象外科目がありますので、学修案内(履修に関する基本的事項)で確認してみてくださいね。

【Point】 GPA対象外科目 (GPAの計算対象にならない科目) 全学類共通
基盤教育：自主学修プログラム
専門教育：教育実習、事前事後指導、保育実習など
その他：他大学などとの単位互換によって単位を認定された科目
外部検定試験(技能審査)によって単位を認定された科目
語学研修などによって単位を認定された科目



じゃあ、成績表には、GPA対象外科目を除いて計算されたGPA値が表示されてるってことですよ。



はい、そうです。

第四章 GPA関連諸制度について GPAにはいろんな制度があるよ



さて、アンサー君は、次の制度を知ってますか？どれも大切な制度ですよ。

【Point】 GPA関連諸制度

- Cap制度：学期ごとの履修登録単位数上限。一部学類でCap上限が異なる。
- 履修登録撤回制度：履修登録科目の撤回ができる制度。学類ごとに撤回できない科目がある。
：例外として、履修登録撤回期間を過ぎてから病気や事故などやむを得ない理由で履修登録した科目を受講しつづけるのが困難になった場合に、申請することによって認められることがあります。

★Cap、履修登録撤回できない科目は各学類で異なるので学修案内(履修に関する基本的事項)を参照願います。



これらは、GPAが著しく低下するのを防ぐために設けられた制度ですよ。例えば、Cap制度は、安易にたくさんの科目を履修登録してそれぞれの勉強がおろそかになり、GPAが下がることを防止しているんですよ。



あ～、Capにはそういう意味があるんですか～。



そうです。登録した科目の予習・復習など、しっかり勉強してもらうためでもあるんですよ。それ以外の制度についても、例えば履修登録撤回制度がなければ、授業についていけないまま試験を受けて低い評価になる可能性もありますよね。撤回期間後にやむを得ない理由で授業を受け続けることができなかつた場合でも、不合格(FでGPAが0)となり、GPAが極端に低くなってしまいます。そうした事態を回避する救済制度です。(例外を除いて、履修登録撤回には申請期間があるので注意してくださいね。)



なるほど～。これなら安心ですね。



確かにそうですが、これらの制度を利用することを考えるよりも、まずは登録した科目をしっかり勉強することが大切です。GPA制度はみなさんに十分な勉強をしてもらうために作られた制度ですから。

最後に



ここまで、GPAのことをいろいろ聞いてきて思ったんですけど、GPAってどういう風に使われるんですか。



GPAは、学修の質の向上を図るものなので、これを参考に学修相談などが行われたりすることもありますね。また、研究室所属の判断基準など各学類でさまざまな利用法を考えているので、学修案内を読んだり、アドバイザーの先生に聞いてみたりしてくださいね。



なるほど～。いろいろな使われ方があるんですね。就職に関わるケースもあるみたいだし、やっぱりGPAって大事なんだな～



さて、GPA講座はいかがでしたか？これを読んでもわからないこと、またGPA以外のことで、疑問に思ったことや分からないことがあったら、アドバイザーの先生に聞いたり、教務課各学類係に気軽に質問してくださいね。



ハ～イ。



各種問い合わせ窓口について(学生関係窓口を中心に)



こんな時は
ここにきて!

事 項		担当窓口
学生の 身上関 係	学生証の紛失、破損	<教務課> 人間発達文化学類係: TEL 024-548-8106 mail:k-ningen@adb.fukushima-u.ac.jp
	休学、退学、改姓・改名、転学類の手続き	
教務 関係	履修基準や専門領域科目の履修についての相談	共生システム理工学類係: TEL 024-548-8357 mail: k-rikou@adb.fukushima-u.ac.jp
	試験について	行政政策学類係: TEL 024-548-8255 mail: kyomu2@adb.fukushima-u.ac.jp
	教員免許、公認心理師ほか資格関係	経済経営学類係: TEL 024-548-8356 mail: k-keizai@adb.fukushima-u.ac.jp
	教育職員免許状取得見込証明書・英文の証明書等	食農学類係: TEL 024-549-0061 mail: k-syokunou@adb.fukushima-u.ac.jp
	「地域×データ」実践教育プログラム グローバル特修プログラムの履修について	<教務課> 教務情報係: TEL 024-548-4070 mail: kyomujoho@adb.fukushima-u.ac.jp
	ライブキャンパス(LC)について (学籍情報の登録や住所・電話番号の変更、履修登録の方法等)、学修 ポートフォリオ	<教務課> 基盤教育係: TEL 024-548-8057 mail: kyotu@adb.fukushima-u.ac.jp
	S棟・M棟・L棟の教室を借りたい場合	<教務課> 教務企画係: TEL 024-548-8053 mail: k-kikaku@adb.fukushima-u.ac.jp
	接続領域科目や教養領域科目、問題探究領域科目について	
	TA(ティーチングアシスタント)について	
	科目等履修生、研究生等について	<教務課> 教務企画係: TEL 024-548-8053 mail: k-kikaku@adb.fukushima-u.ac.jp
単位互換について		
福利 厚生 関係 ・ 学生 生活 ・ その他	就職・進路(企業求人、公務員・教員採用試験等)についての相談	<キャリアセンター> TEL 024-548-8108 mail: shushoku@adb.fukushima-u.ac.jp
	アルバイトに関すること	<学生支援課> TEL 024-548-8054 mail: gakusei-kagai@adb.fukushima-u.ac.jp
	学内での忘れ物、落し物	
	サークル活動で施設を借りたい場合	<学生支援課> TEL 024-548-8060 mail: gakusei-s@adb.fukushima-u.ac.jp
	奨学生及び奨学金についての相談	
	入学科・授業料の免除・徴収猶予について	<会計課> TEL 024-548-8015
	授業料の納入について	
	健康についての相談、健康診断書	<保健管理センター> TEL 024-548-8068 mail: hcc-admin@ipc.fukushima-u.ac.jp
	学生生活上の様々な悩み事などの相談	<学生総合相談室> TEL 024-548-5156 mail: g-soudan@ipc.fukushima-u.ac.jp
	障がいのある学生の支援について	<アクセシビリティ支援室> TEL 024-503-3258 mail: a-shien@ipc.fukushima-u.ac.jp
	教育研究災害傷害保険等について	<福大生協> TEL 024-548-5141
	BYODについて	mail: byod@adb.fukushima-u.ac.jp
	センターアカウント、センターウェブメール、学内ネットワークについて	<情報基盤センター> TEL 024-548-8018 mail: ipc-office@adb.fukushima-u.ac.jp
留学・国 際交流	<国際交流センター> TEL 024-503-3066 024-503-3067 mail: ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp	

【場所】教務課、証明書自動発行機はS棟2F、学生支援課、国際交流センターはS棟1F、キャリアセンターはS棟3F、会計課は事務局棟2F、保健管理センターは事務局棟裏、フクニチャージ図書館(附属図書館)、情報基盤センターはS棟M棟の北側、学生総合相談室・アクセシビリティ支援室は学生会館2F、福大生協は学生会館1Fにあります。

【注意】メールで問い合わせの際は、必ず「件名」「要件(簡潔に)」「氏名」「所属学類/研究科」「学籍番号」を明記して送ってください。守られない場合は迷惑メールとして扱い、返信などは行いません。